



# 入会フォーム作成

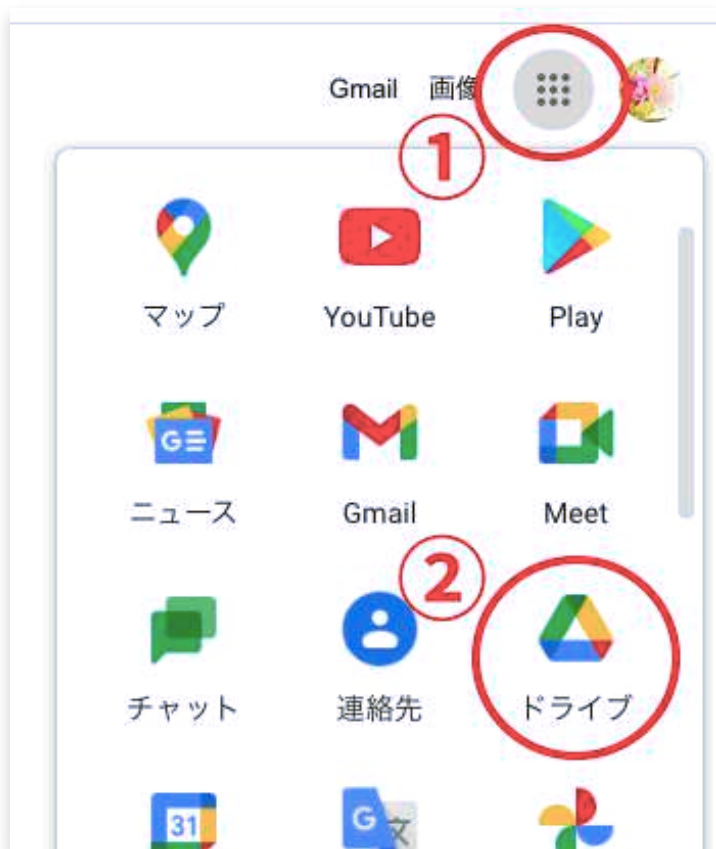
— 16日目 —



# Googleフォームの活用

入会フォームは、Googleフォームを使用して作成してみてください。  
無料で使用できる上、作りたい内容に合わせて柔軟に項目を作ることができます。

## Googleフォームを開く



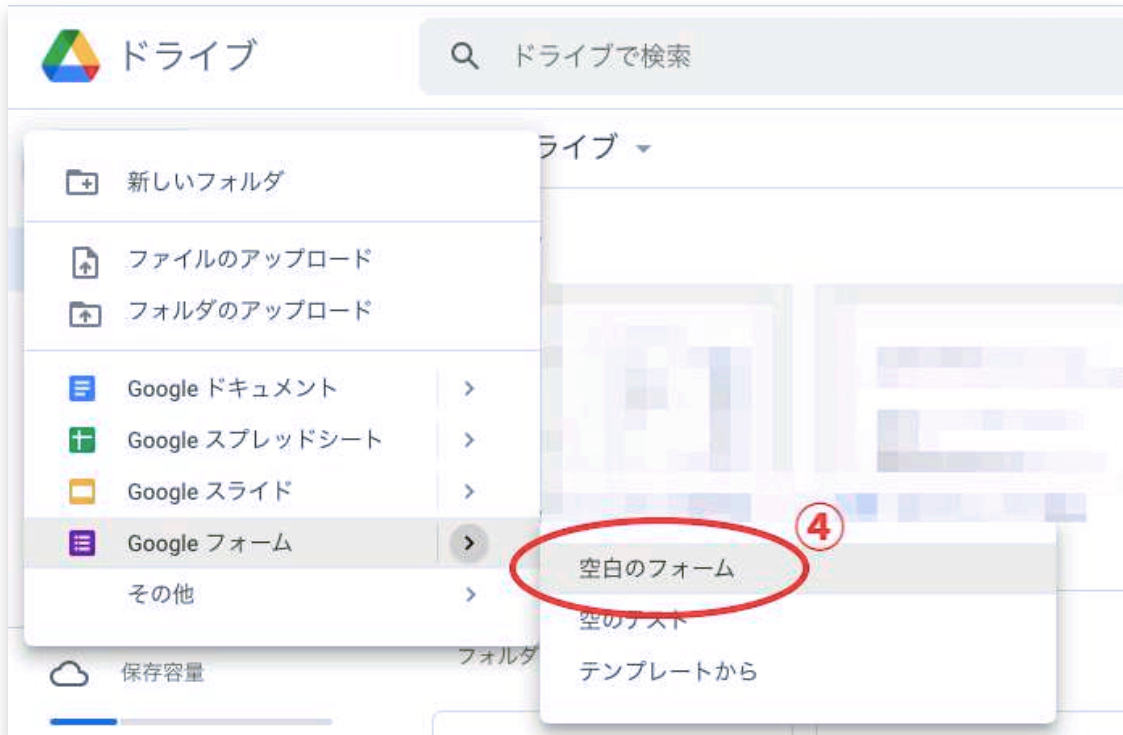
Googleのトップ画面の右上から、  
左記の順にクリックして、

まず、  
「Googleドライブ」を開きます。

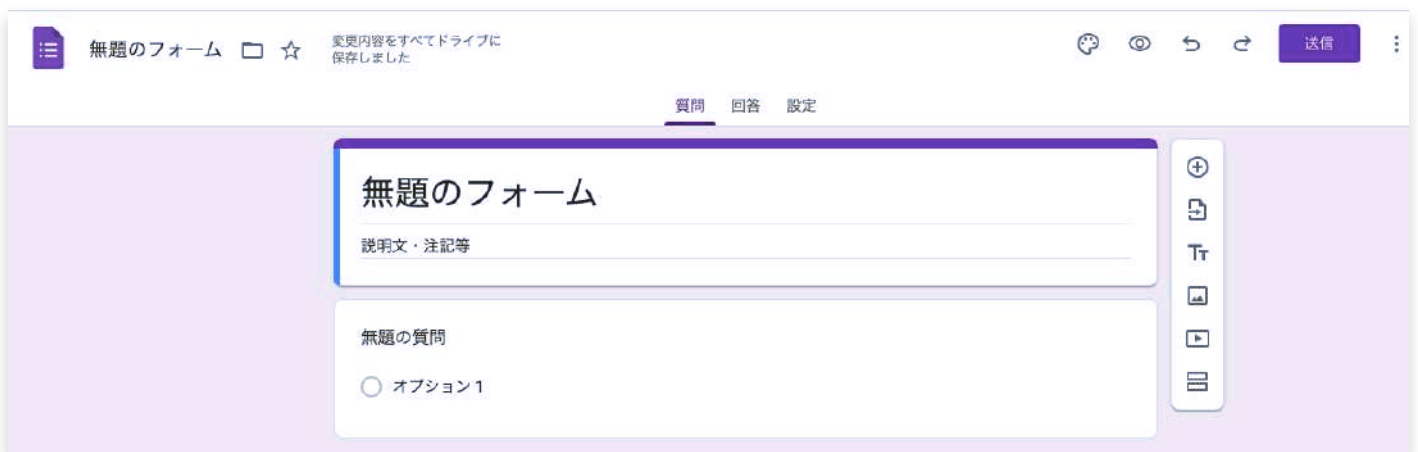




「Google フォーム」から「空白のフォーム」を選択します。



新しいフォームが作成されました。



# ▲ 入会申込フォームを作成する

ここでは、入会申込フォーム作成を例に、使い方を解説していきます。

## ① タイトルと説明文を入力する

左上にタイトルを入力すると、フォーム内にも反映されます。



The screenshot shows the Google Forms editor interface. At the top left, the title '入会申込フォーム' is highlighted with a red circle. To its right, there is a star icon and a notification: '変更内容をすべてドライブに保存しました'. On the right side, there are tabs for '質問', '回答', and '設定'. The main editing area shows the title '入会申込フォーム' in a large font, followed by a text input field with a cursor. Below the input field are formatting icons: Bold (B), Italic (I), Underline (U), Link (link icon), and Unlink (unlink icon). At the bottom of the editing area, there is a section labeled 'フォームの説明'.

その下の「フォームの説明」には、簡単な説明文や注記などを適宜入力してください。

## ② 短文で回答してもらう場合

入会申込フォーム

説明文・注記等

① 名前

② 記述式

③ 必須

④ +

B I U ↻ ✕

記述式テキスト (短文回答)

短文で解答をしてもらう例として、名前の項目を作成してみました。

- ① 「名前」と入力
- ② 「記述式」を選択。
- ③ 必ず答えてほしい質問は必須をオンにしましょう。  
回答しないとフォームの送信ができないようになります。
- ④ 質問項目を追加するときは、この「+」をクリックします。

### ③ 選択肢で回答してもらう場合

学年の選択肢を作ってみます。

答えが選択式の場合は、下記3つから選びます。

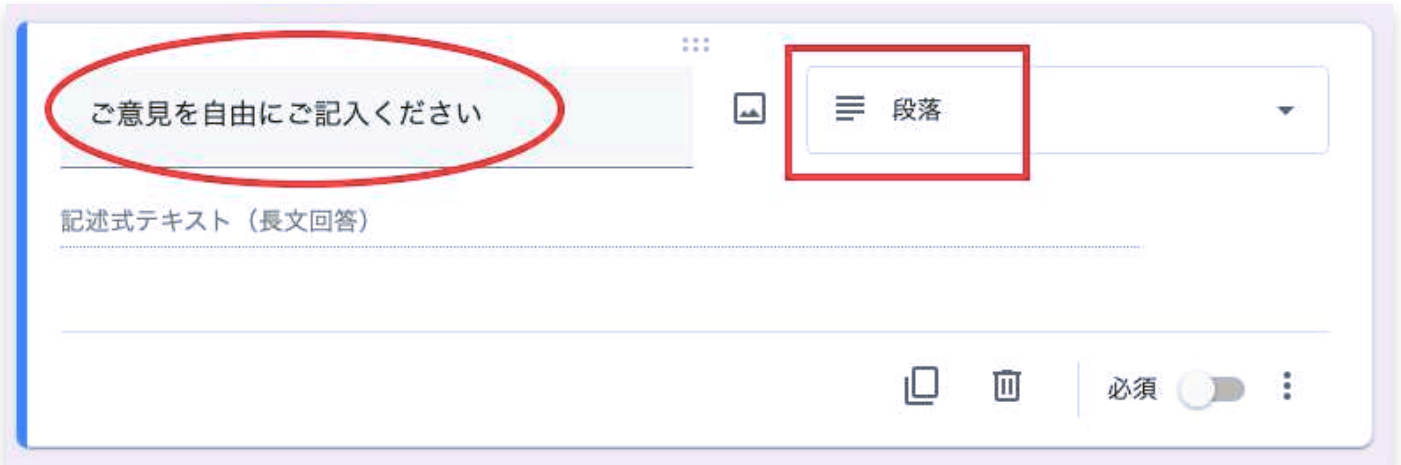
The screenshot shows a form editor interface. On the left, there is a text input field with the text "学年を教えてください" (Please tell me your grade level), which is circled in red. Above it, the text "この中のどれか" (One of these) is written in red. To the right, a dropdown menu is open, listing several options: "ラジオボタン" (Radio button), "チェックボックス" (Check box), "プルダウン" (Dropdown), "ファイルのアップロード" (File upload), "均等目盛" (Equal scale), and "選択式 (グリッド)" (Selection type (Grid)). The "ラジオボタン" option is selected and highlighted with a blue background.

例では「ラジオボタン」を使用しています。

質問名を記入したら、選択肢に選択項目を入力していきましょう。

The screenshot shows the form editor with the question "学年を教えてください" (Please tell me your grade level) and a dropdown menu set to "ラジオボタン" (Radio button). Below the question, there are three radio button options: "小学校1年生" (Elementary school 1st grade), "小学校2年生" (Elementary school 2nd grade), and "小学校3年生" (Elementary school 3rd grade). There is also an option "選択肢を追加 または 「その他」 を追加" (Add option or "Other"). At the bottom right, there are icons for copy, delete, and a toggle for "必須" (Required).

### ③ 自由解答で長文の場合



The screenshot shows a form input area. At the top left, there is a placeholder text "ご意見を自由にご記入ください" (Please enter your opinion freely) which is circled in red. To its right is a dropdown menu with a hamburger icon and the text "段落" (Paragraph), also circled in red. Below the input field, the text "記述式テキスト (長文回答)" (Descriptive text (long text answer)) is visible. At the bottom right, there are icons for copy and delete, a "必須" (Required) toggle switch, and a vertical ellipsis menu icon.

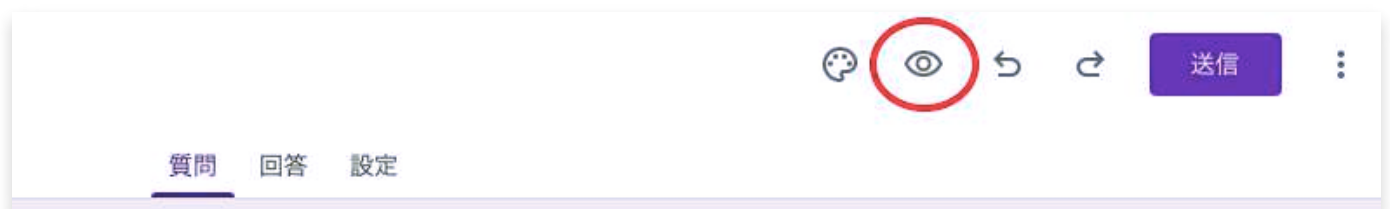
名前のように一言で終わるような解答ではない場合、「段落」を選択します。

記述式でも長文回答ができないわけではありませんが、回答者さんが記入している際、記述式だと冒頭の部分しか表示されません。

段落だと、入力している全文が表示され記入しやすくなりますので、長文の回答になりそうな質問では段落にしてあげておいた方が親切です。

### ④ 実際のフォームを確認する

右上にある目のマークをクリックすると、プレビューで確認できます。

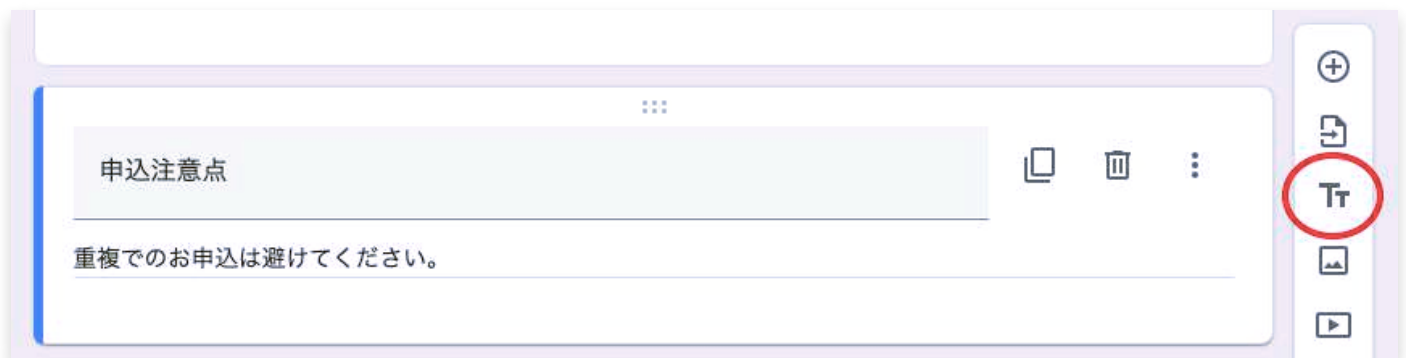


The screenshot shows a control bar for a form preview. On the right side, there is a row of icons: a speech bubble, an eye icon circled in red, a left arrow, a right arrow, a purple button labeled "送信" (Send), and a vertical ellipsis menu icon. Below this bar, there are three tabs: "質問" (Question), "回答" (Answer), and "設定" (Settings), with "質問" being the active tab.

## ⑤ 最後にメッセージを追記してみる

質問だけでなく、メッセージや説明などを追記することもできます。

下記赤丸部分をクリックして、題名と説明を入力します。

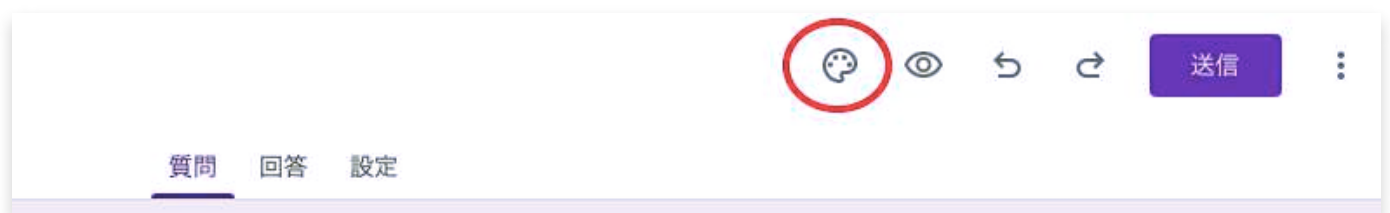


また、その下のマークをクリックすると画像を、そのまた下をクリックするとYouTube動画を表示させることもできます。

必要に応じて使用してください。

## ⑥ フォームの色を変更する

デフォルトカラーは紫ですが、色を変更したい場合、パレットマークをクリックしてください。



すると、「色」という項目が表示されますので、お好みのカラーを選択してください。

ヘッダーに画像を入れたい場合も、ここから設置することができます。



## ⑦ お客様への渡し方

まず右上の「送信」をクリックします。



- ① このクリップマークをまずクリックします。
- ② チェックボックス両方にチェックを入れてください。
- ③ 最後に「コピー」をクリックするとリンクURLがコピーされますので、これをお客様にお渡しします。

まずは、ここでお伝えした基本操作ができれば、入会フォームは問題なく作成できるはずです。

他にも機能はありますので、気になれば色々と触ってみてください。

なんでもそうですが、とにかくやってみて慣れることが一番です。